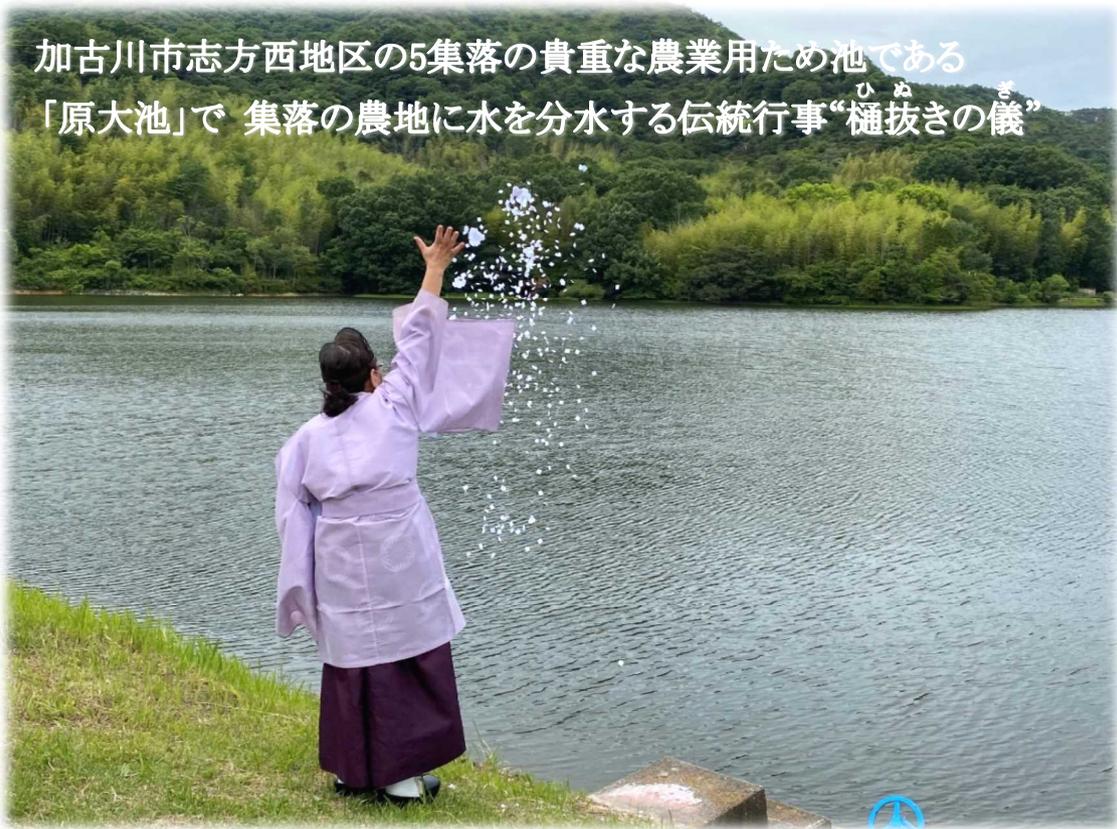


# 樋 抜 き の 儀

加古川市志方西地区の5集落の貴重な農業用ため池である  
「原大池」で 集落の農地に水を分水する伝統行事“<sup>ひぬぎ</sup>樋抜きの儀”



ここくほうじょう 五穀豊穡と水利の<sup>あんない</sup>安寧のお祈り、  
拝礼と振る舞いが終わった後、  
原大池の「樋抜き」が行われます。

分土工を經由した水が轟音と共に  
水路へ、そして農地へと  
美しく流れだします。

と き:令和6年5月27日(月)

10時00分から

ところ:原大池(加古川市志方町原)

加古川市志方町にある原大池は、江戸時代に魚橋(高砂市米田町)の豪商・神吉久太夫により築造されたと伝えられ、町内最大のため池(面積9ha)です。

原大池は、5ヶ村(横大路、原、成井、永室、西牧)が共同で管理しています。

